

一 般 質 問 要 綱

令和2年第6回9月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	2	小澤 誠	<p>1 再生可能エネルギービジョンについて</p> <p>(1) アクションプランのいう「自治体新電力」では、どのような団体・個人を加入させる考えなのか。喜多方市は、どのような役割を果たしていく考えですか。特に、関係する旧電力は加入させるのか、それとも並存させるのか。その功罪について検討した結果を聞かせて下さい。</p> <p>(2) 再生可能エネルギーを「地産地消」し、「地域経済振興」のエネルギーとして育てるためには、送配電の仕組みを持つ必要があります。その仕組みをつくるための構想をお聞かせ下さい。</p> <p>2 少人数学級の実現について</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの感染拡大が学校の活動に深刻な影響を与える中で、各方面から少人数学級を求める声が起こり、国にもその動きが出ています。これはなぜだと思えますか。少人数学級の意義についてどのように考えていますか、お聞かせ下さい。</p> <p>(2) 喜多方市が小中学校で20人学級を実施しようとするれば、小中学校でそれぞれいくつの学級を増やさなければならないか、教職員を何人増やさなければならないか、施設・設備の改修を含めて、年間どのくらい予算増が必要なのか、試算して示して下さい。</p>
2	14	齋藤 仁一	<p>1 新型コロナウイルスの感染対策事業の進捗と今後の対応について</p> <p>(1) 感染予防対策の発熱外来の受診及びその後について、どのようになっているのか伺いたい。</p> <p>(2) 経済・生活対策の生活困窮者支援の貸付制度、給付金及び減免・猶予などの実態はどうなっているのか。また、市としての今後の見通しと今後の対応・対策について伺いたい。</p> <p>(3) 子育て支援の給付金の内容と今後の対応策について伺いたい。</p> <p>(4) 高齢者支援の弁当宅配事業と買い物代行サービス事業の実態と今後の対応・対策について伺いたい。</p> <p>(5) 雇用等への支援の求職者・休業者支援補助金事業ほか2事業の実態と今後の見通しと対応・対策について伺いたい。</p> <p>(6) 中小企業者等への支援の中小企業・小規模事業者活動継続応援交付金事業ほか7事業の実態と今後の見通しと対応・対策について伺いたい。</p> <p>(7) 農業者への支援の実態と今後の農業分野全体を見通した対応・対策について伺いたい。</p> <p>(8) 新型コロナウイルス感染症の影響による市民生活への影響をどのように把握しているのか。それらに対して今後どのような対策を講じる考えか伺いたい。</p> <p>2 職員の人材育成について</p> <p>(1) 市の人材育成基本方針と具体的な対応について伺いたい。</p> <p>(2) 喜多方市職員のあるべき基本姿勢への市の見解を伺いたい。</p> <p>(3) 新人職員の育成及び人事異動の基本的な考えと対応について伺いたい。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>3 中期財政計画について</p> <p>(1) 今後の新型コロナウイルス感染症対策事業に関して財源確保が急務であるが、市の財政状況はどうなっているのか、中期財政計画を示して市としての方針を明らかにすべきと考えるが市の考えと具体的な対応を伺いたい。</p> <p>(2) 国の財政支援の見通しはどうなっているのか伺いたい。</p> <p>(3) 市長は3月議会で「大型事業を見直ししてでもこの難局に対処する」と言明されたと理解しているが、その判断時期と大型事業とは何か伺いたい。</p>
3	19	後藤 誠司	<p>1 有害獣の被害状況について</p> <p>今年度も有害獣の被害が発生しており、その範囲も広がっております。そこで以下の点について伺います。</p> <p>(1) 今年度のツキノワグマ、ニホンザル、イノシシの旧市町村ごとの出没数と捕獲数を伺います。</p> <p>(2) 今年度のツキノワグマ、ニホンザル、イノシシの旧市町村ごとの農作物被害面積と被害金額を伺います。</p> <p>(3) 電気柵について</p> <p>ア 今年度の電気柵貸出状況について伺います。</p> <p>イ 電気柵購入補助事業の進捗について伺います。購入希望者が多い場合の対応についても伺います。</p> <p>(4) 新規狩猟免許取得の補助内容と全額補助の考えはないか伺います。</p> <p>(5) 市全体の鳥獣被害の実態をどのように捉え、分析、対処しようとしているのか伺います。</p> <p>2 本市の農業政策について</p> <p>先日の全員協議会によりますと、本市の主食用米の作付状況は昨年並であります。今年度はこのコロナ禍の中で米の需要減、在庫増、ひいては米価の大幅な下落につながっていくことが懸念されます。</p> <p>そこで、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 県では飼料用米への切替えに 10 アール当たり 5,000 円の補助をし、進めています。本市としての米の需給安定に向けた考えと対応を伺います。</p> <p>(2) 今年度行う市独自の 300 点の放射能検査の対象者は昨年度までと同じかどうか伺います。また、販売促進個別農家検査の意向は調べているのかどうか伺います。</p> <p>(3) 玄そばの在庫増、低価格が懸念されますが、対策はあるのか伺います。</p>
4	21	山口 和男	<p>1 黒瀬館跡発掘調査について</p> <p>(1) 周知について</p> <p>(2) 経費について</p> <p>(3) 公文書開示について</p> <p>(4) 「声のチカラ」(信濃毎日新聞Webサイト)において令和2年3月6日に掲載された内容と大学教授の見解について</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>2 観光物産協会について</p> <p>(1) 令和元年度の決算書について</p> <p>(2) 開発等の収益事業について</p> <p>(3) 新規事業について</p> <p>(4) 観光物産協会の自主運営について</p>
5	3	山口文章	<p>1 有害獣被害対策について</p> <p>現在、市内各所でクマ・イノシシ・サル有害獣による被害が多発しております。特にクマの出没は、日中でも頻繁に目撃されている現状です。イノシシ・サルも今まで出没が確認されていない地域にも確認され、農作物に被害が発生している状況です。年々、動物の行動範囲が広くなり、今後益々様々な被害が広がっていくと懸念されます。</p> <p>そこで、本市での有害獣による被害状況及び対策について伺います。</p> <p>(1) 今年度のクマ・イノシシ・サル有害獣の旧市町村ごとの出没確認数と捕獲数について伺います。また過去3年間での市全体の出没確認数、捕獲数の推移はどのようになっているか伺います。</p> <p>(2) 今年度のクマ・イノシシ・サル有害獣の旧市町村ごとの農作物の被害金額、被害面積について伺います。また過去3年間での市全体の被害金額、被害面積の推移はどのようになっているか伺います。</p> <p>(3) 本市の鳥獣対策実施隊について</p> <p>ア 現在の登録している地区ごとの隊員数、また市全体の平均年齢について伺います。</p> <p>イ 実施隊の採用条件について伺います。</p> <p>(4) 本市の今後の被害対応・対策について</p> <p>ア クマ・イノシシ・サルの被害による対策について伺います。</p> <p>イ 新規狩猟者育成事業の過去3年間の実績と取組について伺います。</p> <p>ウ 有害獣の通り道になる河川の雑木林、やぶや荒地の対策を伺います。</p> <p>2 災害対応について</p> <p>7月28日の豪雨では、本市の被害について人的被害は無かったものの、市内各所で物理的被害が発生しました。市内の田付川においては河川の水位上昇によって地域住民に避難準備・高齢者避難開始が発令されました。</p> <p>今回の豪雨において、避難所開設などコロナ禍の対応をしながら、対処していたと思います。災害はいつ起きてもおかしくないのが現状です。改めて本市の災害に対する取組について伺います。</p> <p>(1) 本市のハザードマップについて</p> <p>ア 現在の市で作成したハザードマップの種類について伺います。</p> <p>イ 避難場所、避難所の選定の根拠について伺います。</p> <p>ウ ハザードマップの周知方法について伺います。</p> <p>(2) 7月28日豪雨について</p> <p>ア 当日の避難情報が発令されるまでの経緯について伺います。</p> <p>イ 避難所開設について伺います。</p> <p>ウ 豪雨時の市内、自主防災組織及び消防団の活動について伺います。</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
6	4	十二村秀孝	<p>1 ポストコロナ時代における地方創生について</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大によって3密回避のためイベントは中止・縮小を余儀なくされ、外食の機会や国内外からの交流人口は大幅に減少する一方で、外出自粛等による巣ごもり需要は大幅に増加しており、ポストコロナ下での新たな経済・社会の在り方を模索する必要があります。そこで次の3点について伺います。</p> <p>(1) 出身地や自分が選んだ自治体に寄付する「ふるさと納税」がコロナ禍で注目を集める中、喜多方のファンづくりの機会と地域経済の再生に向けた財源の確保につながるものであります。そこで伺います。</p> <p>ア 本市のふるさと納税額、県内における納税額ランキング、返礼品の品目別内訳割合の過去3年間の推移について伺います。</p> <p>イ ふるさと納税額の目標と目標達成に向けた取組について伺います。</p> <p>ウ ふるさと納税の今後の使途について伺います。</p> <p>(2) 人口減少や高齢化により地域づくりの担い手不足という課題に直面している中、都市部に住みながら様々な形で地方と関わる「関係人口」の創出・拡大を進める動きが全国各地で見られています。</p> <p>本市でも担い手不足の課題があり、またコロナ禍で地方回帰の機運が高まる中、ポストコロナに向けて関係人口の創出・拡大、富山県南砺市などのような応援市民制度の創設を進めていく考えはないのか伺います。</p> <p>(3) 国において地域の担い手を確保する観点から、本年6月に「特定地域づくり事業協同組合制度」が創設されました。そこで伺います。</p> <p>ア 対象地域として人口急減地域とありますが本市は該当する地域であるのか伺います。</p> <p>イ 地域の様々な業種を組み合わせることで、新たな雇用の場を創出し、移住・定住を促進する効果が期待されますが、本市においてこの制度を活用していく考えはないのか伺います。</p>
7	20	佐原正秀	<p>1 農地の一元管理について</p> <p>政府は全国の農地情報をインターネット上で一元的に管理する方針を示しました。それによりますと、行政機関や農業団体がバラバラに管理してきた農地情報を集約し、農林水産省が統計用に使う地図データと組み合わせて「デジタル地図」を作成し、2022年度にも運用を始めるとのことです。申請書類の作成など農家の事務負担を軽減し、将来的には人工知能（AI）を使った農機の利用など、「スマート農業」にも活路を開くとのことです。</p> <p>本年4月から一部の地域で農家への補助金をオンラインでも申請できるようにするなど、オンライン申請を基に農地の所在地や面積、所有者名などの情報を落とし込んだデジタル地図を作成し、必要な情報を地図上で瞬時に一覧できるようにして行政事務に役立てるとのことですが、本市の対応についてお尋ね致します。</p> <p>(1) 所有者不明農地の活用について</p> <p>(2) 全国農地ナビによる農地情報の活用について</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(3) 本市の農地集積・集約化の対応について</p> <p>(4) A I を活用した農業の取組体制について</p> <p>(5) 一元管理を進める上での課題について</p> <p>2 働き方改革による新たな社会の取組について</p> <p>政府は新たな成長戦略案を示しました。少子高齢化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大によって変わる社会で、本市の活力化につながるよう着実に施策を実行していかなければなりません。戦略案は新しい働き方の提案、キャッシュレス決済の環境整備、デジタル市場への対応、人口減に対応する省力化を推進するためのA I やドローンの積極的な運用等を目指しておるところであり、本市の今後の対応についてお尋ね致します。</p> <p>(1) 新型コロナに伴う経済活動の引上げと医療体制の充実について</p> <p>(2) 官民一体のデジタル化推進について</p> <p>(3) 本市への移住促進とI Tの活用について</p> <p>(4) オンライン教育の対応について</p> <p>(5) テレワークの推進と定着について</p> <p>(6) 多角連携型社会への本市の取組について</p> <p>3 複合災害時の対策について</p> <p>近年頻発している地震や風水害などの災害が、全国各地で発生し多くの死亡やケガ、そして家屋等の倒壊又は崩落が多発しております。このようなことから本市においても、避難所に避難しなければならない状況がいつ起こるかわかりません。新型コロナウイルス感染症が収束していない状況で災害が発生し、避難所が開設される場合「3密（密閉・密集・密接）」の環境が生じやすく、今までどおりに行動すると感染リスクが高まってしまいます。そのため、一人ひとりが自分の状況を考え、自分の命は自分で守るという意識を持ち、適切な避難行動をとることが大切になり、災害の発生する前の平時からの事前準備や災害時の対策についてお尋ね致します。</p> <p>(1) 分散避難について</p> <p>(2) 3密を回避するための避難対策について</p> <p>(3) 避難行動判定フローについて</p> <p>(4) 災害時における避難所の開設対応について</p> <p>(5) 警戒レベルに応じた避難行動について</p> <p>(6) 避難所内の感染症対策について</p> <p>(7) 災害時に向けた保存版パンフレットの作成と配布について</p> <p>(8) 情報発信のためのSNS活用について</p>
8	7	渡部一樹	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 「わくわくする喜多方」の具体像について伺いたい。</p> <p>(2) コロナ禍における施策推進の基本方針について伺いたい。</p> <p>2 市民の安全・安心について</p> <p>これまでの感染症対策と今後の対策の基本方針について伺いたい。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>3 産業振興について</p> <p>(1) コロナ禍による地域経済への影響について伺いたい。</p> <p>(2) 対策の長期化により新たな支援が必要と考える。年度内に検討している支援策について伺いたい。</p>
9	12	長澤勝幸	<p>1 放課後児童クラブの充実・環境整備について</p> <p>(1) 放課後児童クラブの整備、運営及び当面する対応の考え方について</p> <p>ア 市の「第二期喜多方市子ども・子育て支援事業計画」の「施設環境の改善に向け必要に応じて施設の整備やクラブの移転、分割等を実施する」を前提に、今後の放課後児童クラブの施設環境整備について、財政的措置としての中期財政計画での位置づけや次年度に向け安定した恒久的な計画の見通しはどのようにしているのか。</p> <p>イ 国は、2014年に「放課後子ども総合プラン」の推進として、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、学習や多様な体験・活動を行うなど、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子供教室の計画的な整備を進めるとしている。現状を踏まえ、安定した恒久的な整備計画を考えているのであれば、現時点でどのように構想しているのか。</p> <p>ウ 専用区画の面積は児童一人につきおおむね 1.65 m²以上、児童の集団規模としての数は、おおむね 40 人以下とされ、放課後児童支援員は2名以上と基準が示されているが、コロナ禍における対応の考え方、また、3密を避ける環境整備はスピード感を持った対応が重要と考えるがどうか。</p> <p>エ 法に基づく補助要件として、小学校敷地内の施設の活用を図るほか社会資源や民家・アパートを活用するとある。具体的に塩川児童クラブの当面する対応として、ふるさと会館や塩川体育館の優先的利用を進めることはできないか。</p> <p>(2) 支援員などの適正配置及び処遇改善について</p> <p>ア 放課後児童クラブの職員の処遇は、喜多方地区では、社会福祉協議会に事業委託、一方で熱塩加納、塩川、山都、高郷地区は、会計年度任用職員としての採用になり格差が生じているが、どのように捉えているのか。法改正に伴い従事する者の処遇改善についても「検討に加えられ所要の措置を講ずる」としている。安定した人材を確保するためにも十分に検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>イ 放課後児童クラブにおける障害を持つ児童の受入強化推進事業が創設され、適切な対応が必要なことから専門的知識を有する指導員を配置するために必要な経費を運営費として上乘せ補助がされることになる。本市における受入状況と受入体制は十分に整備されているのか。</p> <p>2 身近な行政課題解決について</p> <p>(1) 特別定額給付金に代わる応援給付支給について</p> <p>特別定額給付金の基準となる4月27日の深夜に死亡し、特別養護老人ホームに入所し住民票異動を施設から求められた関係上、施設で</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>は手続きや受取者がいなく、国の基準上給付できないということだが、対象となる者が当日まで住民基本台帳に記載され生存していたことや日常的な施設の事務手続きは身近にいる子供が行っていること、10万円が給付された場合財産となり後の相続の対応をすればよいことなどを踏まえ応援給付で対応できないか。</p> <p>(2) 押切川公園体育館東の人工水路（せせらぎ水路）の管理について 人工水路について対応策を求めた。答弁では、ポンプ施設の不具合等により稼働していない。今後の対応策について水路の閉塞による体育館や公園などの周辺施設と一体となった持続可能な歩行空間の再構成を検討するとしていた。どのように検討され、どう実施されるのか。</p> <p>(3) 住宅地における水路の整備について ア 水路の汚泥の堆積や下水道未整備地区の悪臭の問題などで、水路を管理する市に対してパワフルマスターを稼働した対応を求めてきた。作業には市民の協力も必要なことから行政区長に区長会などを通して説明するとしていたが、どのような周知・説明がなされ、管理者としてどのように対応するのか。 イ 汚泥の放射線量の再測定をするとしていたが、どういった結果になっているのか。</p> <p>(4) 街路樹の整備について 喜多方プラザ東道路のプラザ生協店の南側に位置する梅の木について、立ち枯れや景観の悪さを指摘し、幾度となく対応を求めてきた。観光立市・花でもてなす喜多方のまちづくりの視点からも早急に取り組むべきである。地区との合意形成はどのように進められ、今後どのように実施するのか。</p>
10	6	小島雄一	<p>1 農業・農村問題について 今般のコロナ禍の影響は大変大きく、社会の在り方も根本から変化すると論じられている。お米の消費状況も大きく変化し、業務用米を中心に米余りの状況になっている。そこでこの秋の状況を中心に農業・農村の在り方を伺う。</p> <p>(1) 本市の令和元年産米の収穫量、取扱業者の集荷量及び現在の在庫量を伺う。</p> <p>(2) 令和2年産米の作柄、価格の見通しを伺う。また、価格の大幅下落となった場合の対策を伺う。</p> <p>(3) 令和3年以降の本市の水田農業の在り方を伺う。 ア 品種の構成をどうするのか、業務用米重視を続けるのか伺う。 イ 耕作放棄地、荒廃農地対策の在り方を伺う。 ウ エタノール醸造など米の新しい用途開発の考えはないか伺う。</p> <p>(4) 田園回帰就農に対する取組の現状を伺う。</p> <p>2 小中学校ICT教育推進事業について コロナ禍の影響により、政府が2023年までに全国の小中学校で1人につき1台のタブレット等の端末機器を配布するという計画を前倒しすることとなった。本市における事業内容を伺う。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(1) 事業の目的、具体的配備のスケジュールを伺う。 (2) タブレット等を用いてどのような授業を行うのか、在校時、在宅時、具体的内容を伺う。 (3) 教師に対する研修や指導員制度の設置はあるか伺う。 (4) デジタル機器に触れる時間が大幅に増えることが予想される。メディアリテラシーや依存症対策を伺う。
11	9	菊地とも子	1 在宅介護者への支援について (1) 在宅介護者への負担軽減の取組について (2) 在宅介護者への手当支給についての考えと今後の取組について 2 熱中症対策について (1) 昨年度並びに今年度の熱中症による緊急搬送の件数について (2) 本市の取組について ア 市全体の取組について イ 小・中学校での対策について (3) 冷水機の設置について ア 小・中学校への設置状況と冷水機導入の考えについて イ 公共施設への設置状況と冷水機導入の考えについて ウ ウォーターステーションの設置について (4) 都市公園へのミストシャワーの設置について 3 綾金工業団地について (1) 企業誘致の現状について (2) 今後の企業誘致の取組について 4 豊川・慶徳線道路整備事業について (1) 豊川・慶徳線道路整備事業の進捗状況について
12	1	矢吹哲哉	1 新型コロナウイルス感染症の現状認識と対策について (1) 新型コロナウイルス感染症の広がり現状認識について伺う。 (2) 感染防止対策の現状認識について伺う。 (3) 国、県、本市の今後の防止対策について伺う。 (4) 現在の日本経済と市内の経済の状況と経済対策について伺う。 ア 日本経済の現状と今後の予測について イ 市内経済の現状と今後の予測について ウ これまでの経済対策の効果と今後の対策について (ア) 国の対策の効果と今後の対策について (イ) 本市の対策の効果と今後の対策について (5) 小・中学校の土曜授業の総括と今後について (6) 感染防止・経済対策についての国への要望について ア 臨時国会をただちに開き、国として感染防止の抜本的対策（PCR検査の徹底拡充）、経済対策の充実政策を示すことを求めるが、市長の見解を伺う。 イ 消費の落ち込み回復へ消費税の5%への引下げ、所得税中心の税制の改正を求めるが市長の見解を伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>2 来年度以降の予算編成方針について</p> <p>(1) 医療、社会保障予算の抜本的拡大の予算編成を求めるが、市長はどのように考えているのか伺う。</p> <p>ア 市内医療、介護施設への支援策について</p> <p>イ 低所得者、不安定雇用者への対策強化について</p> <p>ア) インフルエンザ予防接種への支援について</p> <p>イ) 生活補償への独自の支援策について</p> <p>(2) 大型公共事業（新市建設計画・中期財政計画）の抜本的見直しを求めるが、市長の考えを伺う。</p> <p>ア 来年度予算編成の基本方針はどのようになるのか伺う。</p> <p>イ 新市建設計画・中期財政計画の見直しを行うのかどうか伺う。</p> <p>ウ いくつかの個別課題について伺う。</p> <p>ア) 大規模水害への対策の現状と今後の計画について 田付川、一ノ戸川の水害対策のハード面での整備状況と今後の計画について伺う。</p> <p>イ) 上ノ山墓地公園の整備方針の見直しを求める件について 納骨室に水が溜まる状況があるが、抜本的改善が求められている。市で抜本的改善策を早急に行うことを求めるが市長の考えを伺う。</p>
13	5	上野利一郎	<p>1 ひとつくり・交流拠点複合施設整備事業について</p> <p>ひとつくり・交流拠点複合施設整備事業は、令和4年3月末までに第一期工事が完了予定である。その後、第二期工事で予定されている図書館、会議室、市民ギャラリー、和室スタジオ等の融合空間についての基本設計が今後実施予定である。この施設を核とした交流創出、活動支援の拠点としてさらに整備を進めるにあたって以下の3点について伺います。</p> <p>(1) 図書館の設計について</p> <p>ア 他市の先進地図書館のように指定管理者とも協議し、利用者ファーストの視点を十分に盛り込みながら設計すべきと考えるが、どのように設計の詳細仕様の決定や、空間デザインを構築するのか伺います。</p> <p>イ 図書館を利用した市民交流のみならず、観光交流も視野に入れた設計と運営（観光図書館としての位置づけ）も必要かと思うが、見解を伺います。</p> <p>ウ 図書の無料化と有料化（書店の併設）の共存の検討の余地があるのかどうか伺います。</p> <p>エ 来館者数と図書貸出数を大幅に増やすことができた佐賀県武雄市立図書館や岡山県高梁市立図書館の先進地事例等から、今回の図書館の設計に応用できる内容について設計面と運用面の両方について伺います。</p> <p>(2) 駐車場整備について</p> <p>ア 多目的な複合施設を利用する市内と他地域からの利用者の利便</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>性を考慮すると現在の設計時における駐車場としてのキャパシティが懸念されるが、混雑時での対応について伺います。</p> <p>イ 北町地区の喜多方市小田付伝統的建造物群保存地区での「にぎわい創出」の観点からも、「ひばりが丘球場」を複合施設利用者の駐車場としての利活用も検討すべきと思うが見解を伺います。</p> <p>(3) 本市のランドマークとしての位置づけについて</p> <p>ア この複合施設は本市の近代的なランドマークとなる施設であり、他自治体でも見られるように、市民に親しまれる施設としての愛称が必要である。愛称についての選定方法の具体的な案があれば伺います。</p> <p>イ 施設の北側道路、主要地方道喜多方・西会津線の東側への延伸計画(国道121号バイパスへの接続)について、今後施設の利用状況(交通渋滞等)による検討の可能性について伺います。</p>
			<p>2 V-Low災害情報連携システムの代替策について</p> <p>V-Lowマルチメディア放送(i-d i o)は2020年3月31日で終了し、本市のほか、焼津市、加古川市で既に始まっているV-A L E R T(自治体向け防災情報広報システム)については、2020年4月以降も音声チャンネルを伴ったサービスとして継続して利用自治体に提供されているが、後継システムをどうするか、間隔を置かず引き継げるのか、補償などを含む費用負担をどう考えるのかが議論されてきたが、このほど市当局より代替案について示された。そこで以下の3点について伺います。</p> <p>(1) 代替案による事業の費用について</p> <p>ア すでに配布済のV-Low対応戸別受信機をFM放送用に変更するための費用について、本市からの追加予算措置が発生するのか伺います。</p> <p>イ 「おぐに交流の郷」送信所のFM波への仕様変更の費用についても、本市からの追加予算措置が発生するのか伺います。</p> <p>ウ コミュニティ放送による防災情報広報システムを構築するにあたって、国の地方財政措置について伺います。</p> <p>(2) 割り込みする情報の内容について</p> <p>ア 地区別情報の放送については、佐賀市の事例のように自治体コードと地域エリアコード、対象者コードを定めることにより、緊急起動型FMラジオの起動対象者のきめ細やかな選定を行えば、各地区別の放送が可能だと思うが検討されるのか伺います。</p> <p>イ 割り込む情報の内容(緊急性)からレベル分けすべきと思うが、分類方法について伺います。</p> <p>ウ 割り込み作業を行える箇所は、本所、各総合支所以外はどこに設置する予定なのか伺います。</p> <p>エ 自治体からの緊急放送が頻繁に発生することによって、コミュニティ放送局の本放送時間を圧迫することが懸念されるが、これを回避する方法について伺います。</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>(3) 難受信地区への対応について</p> <p>ア 各地区のFM波の受信レベルマップが示されたが、山間部や低地部での受信ができない地区の調査は今後追加で行うのか伺います。</p> <p>イ 難受信地区への緊急起動型FMラジオの配布時には屋外アンテナの設置も含めた対応が必要と思われるが、検討されるのか伺います。</p>
14	18	伊藤 弘明	<p>1 長期低落傾向の軌跡をえがく事業について</p> <p>毎年、同じ内容の事業をただ繰り返し行っていると事業効果が長期的に低落するという現象に陥っていると考えられる本市の事業とその進め方について伺う。</p>
15	8	蛭川 靖弘	<p>1 喜多方市総合計画の見直しについて</p> <p>新型コロナウイルスが起こしている様々な社会変化は今後も長く継続していくと考えられる。コロナ以前の社会と、ウィズコロナと呼ばれる新型コロナウイルスと共存していく社会では、生活様式についても社会システムについても大きく変化し、本市が掲げる目標や計画も変更を余儀なくされると考える。</p> <p>(1) 本市総合計画の大綱1第5節では、本市の観光振興について分析し、目標と施策をうたっているが、その指標の中で、本市を訪れる観光客入込数、宿泊者数、グリーンツーリズム交流人口、外国人観光客数の目標値を設定している。</p> <p>大綱1第5節の施策の内容や、指標、目標値は現状を鑑みれば見直すべきと考えるが市長の意向を伺う。</p> <p>(2) また、今年度策定した第2期喜多方市総合戦略の中でも基本目標2の基本的方向3において、魅力的な観光エリアづくりについてうたっているが、これもウィズコロナ時代に即した、安心して安全な方向性への転換が必要と考えるが、市長の意向を伺う。</p> <p>2 喜多方市長期人口ビジョンの見直しについて</p> <p>本市では、昨年12月に長期人口ビジョン第2版を発行したばかりである。平成27年の国勢調査をベースとしたデータで策定しているが、既に将来展望人口の推計値と、実際の本市人口と出生数に大きな乖離が生まれている。</p> <p>これは、分析が間違っていたのか、施策が間違っていたかのどちらかが原因であると考え。</p> <p>どちらの場合でも早急な計画の見直しが必要と考えるが、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 喜多方市の出生数は、喜多方市長期人口ビジョンの展望人口における出生率、出生数に比較して大きく下回って推移しており、基準モデルである国立社会保障・人口問題研究所の推計値をも下回っている現状である。</p> <p>人口ビジョンでは、2020年度の1歳区分平均値が333人であるのに対し、実際の出生数は、平成29年度310人、平成30年度290人、令和元年度271人である。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>また、令和2年度に関しては、6月までのデータしか公表されていないが、昨年比2割減で推移している。この原因について伺う。</p> <p>(2) 長期人口ビジョンは、喜多方市総合計画、喜多方市総合戦略にも関わる重要な指数であり、市の中期財政計画にも影響を及ぼすと考えられる。現段階で、長期人口ビジョンの大幅な見直しが必要と考えるが、市長の意向を伺う。</p> <p>(3) 既に述べたように人口減少は避けようのない事象であり、人口を維持する政策や施策を立案し、実施するよりも、人口減少を受け入れた中で市民がいかに幸せで生き活きと暮らせるかを目指す方向に舵を切るべきだと考えるが、市長の意向を伺う。</p>
16	11	坂内鉄次	<p>1 市職員の人事管理について</p> <p>(1) 職員の働き方改革について</p> <p>(2) 人事異動について</p> <p>(3) 女性職員の登用について</p> <p>(4) 会計年度任用職員制度について</p> <p>(5) 災害対応時における安全対策について</p> <p>2 行政格差の是正について</p> <p>(1) 通学格差について</p> <p>(2) 集会所の修繕など負担格差について</p> <p>(3) 上下水道の供給と負担の格差について</p>
17	16	五十嵐吉也	<p>1 令和2年度予算の執行状況について</p> <p>当局は、新型コロナウイルス感染拡大防止を進めるため、今年度予定した事業を中止しております。年間を通し中止に伴う事業費の合計額はいくらになるか伺います。</p> <p>2 私道の取扱いについて</p> <p>(1) わたくし道の市道路線認定について</p> <p>(2) 共有道路に布設する下水道管布設工事について</p> <p>3 本市の定額給付金10万円の給付について</p> <p>(1) 本市に申請された給付総世帯数及び給付率と給付総額を伺います。</p> <p>(2) 本市の申請期限日はいつか。申請締切りに間に合わない世帯に対する措置はどのようになりますか。特別給付金の目的は新型コロナウイルスによる日本経済に対する緊急対策の一施策として打ち出し、個人消費の拡大につなげ経済の底上げを図ると伺っております。本市においてどの程度消費に回ると試算されておりますか伺います。</p> <p>4 厳しい新型コロナウイルス下による高卒の就職状況について</p> <p>(1) 本市には4つの高等学校があります。来春卒業され就職を希望する生徒数と就職の内定率は現時点で何%か、昨年と比較してどうか。市内、市外、県外と就職地の内訳と生徒の希望する就職に乖離はありますか伺います。</p> <p>(2) 行政の役割は限られてくるが、今後いかに関わり生徒の就職率アップに寄与できるか、積極的に後押しすべきと思うが伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
18	17	佐藤忠孝	<p>1 新型コロナウイルス感染防止対策について</p> <p>(1) 会津若松市において新型コロナウイルス感染症者が多くの方が発症しておりますが、近隣の喜多方市として今後の新型コロナ感染症防止対策を伺う。</p> <p>また、喜多方市は感染防止のため、県内一早く、市内全世帯にマスクを配布しましたが、効果としては、どのようであったか、市内の皆さんが満足しているのか、さらにどのような反応があったのか伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染に伴い、報道によると夏にはコロナウイルスの感染が少なくなると報道もあつたようですが、現在でも東京では毎日多くの方がPCRで陽性と判明されています。そのような中、本市にも観光客が多く訪れて居るようですが、観光街である本市としてどのような感染防止対策をとって行くのか伺う。</p> <p>(3) 今後、秋まで、3波感染症により、インフルエンザ、コロナと同時に感染の起きる可能性も考えられますが、どのような対策を考えているのか伺う。</p> <p>なお、今回喜多方市内の医療法人団体の皆様方のご協力を頂き、発熱外来の開設を行って参りましたが、外来受診患者人数及びその病名、そして保健所でのPCRの状況と人数をお伺い致します。</p> <p>(4) 本市として観光業、地域飲食業に対して一律20万円を交付され、また第2弾として今回市内小規模事業者には雇用維持のため、従業員人数により給付されておりますが、それらの完了期間は予定通り9月末に事業を終えることができるか。</p> <p>また、各事業所に支援金は予算通りの金額で支払いは可能なのか伺う。</p> <p>(5) (1)から(4)までの事業について現在までの効果はどのように把握しておりますか、また今後、市として何か検討し再度対策の考えはあるのか伺う。</p> <p>(6) 今回の新型コロナウイルス感染防止3密を避けるための、イベント、事業について中止、延期となっているが、今後どのような取組を考えているのか伺う。</p> <p>(7) 喜多方市内の各施設はどのような新型コロナウイルス感染防止対策を実行しているのか伺う。</p> <p>(8) 喜多方市観光物産展の県外における展示販売について、喜多方市の特産品については県外をまたぐ販売は、経済的に必要かと思うが、今回のように、新型コロナウイルス感染の中県外での物産展における対策をどのようにとっているのか伺う。</p>